

子どもを育む4つの場と4つの視点

- 「家庭」・「地域」・「企業等」・「学校等」を子どもを育む4つの場と位置づけ、それぞれでの大人の役割を定めました。
- 子どもを育む上で、時代の移り変わりに左右されない視点があります。この運動では、その中でも特に大切にしたい4つの視点から大人の行動指針を提案しています。

4つの場	家庭	地域	企業等	学校等
4つの視点	命 命の大切さを自覚する	子どもを一人前の大・親に育てる 「命」のつながりを伝える <ul style="list-style-type: none">自分の命は祖先から受け継がれ未来へとつながる尊いものであることを伝える。「佐賀市いじめ（いのち）を考える日」（毎月1日）に、命について家族で話し合う機会をつくる。安心・安全な居場所である家庭をつくる。子どもの成長を手助けする食事を心がける。	子どもに地域の一員としての自覚を促す 子どもの安全を見守る <ul style="list-style-type: none">登下校の時間に合わせて外出する。（散歩や買い物等）“子ども110番の家”や“地域の見守り隊”等に参加する。子どもへの気配り・目配りを心がける。	子どもの勤労観・職業観を育む 働くことの意義を伝える <ul style="list-style-type: none">職場見学を積極的に受け入れ、大人が一生懸命働く姿を見せる。子どもが保護者の職場や働く姿を見ることができる機会を設ける。職場見学や子ども向けのイベント等を行った場合は、積極的にその情報発信をする。
命	自立 大人として成長し続ける	基本的生活習慣を身に付けさせる <ul style="list-style-type: none">早寝早起き朝ごはんの習慣を身に付けさせる。家事を分担し役割を与え、その役割に対して責任を持たせる。インターネット・ゲーム・テレビの時間を決める。保護者自身が子どもを中心とした生活に心がける。	「市民性をはぐくむ教育」を実践する <ul style="list-style-type: none">子どもに色々な体験の場を提供する。地域の行事等に子どもの活躍の場を与える、地域の一員として「役に立った」「やり遂げた」等の自己有用感を感じさせる。	子どもの自立を促す取り組みを推進する <ul style="list-style-type: none">子ども（特に中学・高校生）の就業体験を積極的に受け入れる。企業の持つ知識・技術・人材等を、学校や地域のために活かす。
自立	他者とのかかわり 支えられ生きていることを自覚する	家族団らんの時間を増やす <ul style="list-style-type: none">家族できちんとあいさつを交わす。子どもの立場に立って話を聞く。家族そろって食事をする機会をつくる。家族全員が参加する我が家行事をつくる。	子どもと顔見知りになりふれあいを深める <ul style="list-style-type: none">大人自身が積極的に地域の行事等へ参加する。地域の行事等で多くの子どもと顔見知りになり、あいさつが交わせる関係を築く。大人同士もあいさつを交わす。	子育てしやすい職場の環境づくりを図る <ul style="list-style-type: none">授業参観やP.T.A活動、地域活動のために休暇を取りやすい雰囲気づくりを進める。育児休業や看護休暇等を取得しやすい職場づくりを進める。週のうち最低でも1日は早く帰る取り組み（ノーリミテッドデー）を行う。
他者とのかかわり	子どもを取り巻く環境 子どもを取り巻く環境に気を配る	子どもを有害な情報・環境から守る <ul style="list-style-type: none">家族でタブレットやスマートフォン等の使用のルールを決めて共有する。フィルタリング機能を活用する。SNSやインターネット等の利便性と危険性について家族で話し合う機会をつくる。学校で禁止されている場所に子どもを連れて行かない。	有害な情報・環境の改善を図る <ul style="list-style-type: none">有害図書等が身近に売られている環境にあることを認識する。有害な情報の看板や張り紙等を見つけたら、速やかに関係機関へ連絡し、その情報を地域で共有する。	子どもを取り巻く環境に配慮する <ul style="list-style-type: none">コンビニや書店等では有害図書の区分販売等の対応に努める。マスコミ等の各種メディアは、情報を発信する際には子どもへの配慮を心がける。
子どもを取り巻く環境				正しい知識や技術を身に付けさせる <ul style="list-style-type: none">情報機器の正しい使い方や、SNSやインターネット等の有用性や危険性を教える。“心と身体の健康”や“食”についての正しい知識を身につけさせる。ネット依存にならないよう家庭と連携を図る。

ふるやと「やが」を協働でつくる個性と創造性に富む人づくり

4つの場それぞれがその役割を果たすよう努めると同時に、相互にまたは全体として連携を図ることも大切です。
それぞれの場が手を取り合って、社会全体で子どもを育む気運を高めましょう。

言葉の定義
(条例第2条)

子ども…おおむね18歳未満(高校生まで)の者
大人…子どもを除くすべての者
地域…地域の住民、地域の各種団体及びNPO等の市民活動団体
企業等…事業活動を営むすべてのもの(営利目的や法人格の有無等は問わない)
学校等…学校、幼稚園、保育所(園)その他これらに類するもの